

8 水田畦畔及び農道等への新除草剤グリホサートの実用化

(農試県南分場)

グリホサート剤は一年生及び多年生草種の生育期に噴霧又は塗布することによって、地上部、地下部とも枯死させ、土壌汚染も全くない除草剤である。

(1) 背景とねらい

本薬剤は従来のように生育期処理が困難であったり、多年生雑草に効果が劣ることなく、作物に飛散、附着しなければきわめて安全性が高く、又汎用的であるので実用に供する。

(2) 技術の内容

1) 除草剤名 商品名 ラウンドアップ 試験名 MON-39
成分 グリホサート 41.0%

2) 除草剤の特性

吸収移行型の除草剤で非選択的にほとんどの1年生、越年生、多年生草本及び木本植物に作用し、成分は茎葉から吸収され、地上部及び地下部まで移行し蛋白質の合成を阻害し雑草全体を枯殺する。土壌表面に落下した成分は土壌に吸着され不活性化し、微生物によって天然物質に分解される。

3) 使用方法

(ア) 加圧式散布機を使用する場合

対象雑草と散布液濃度及び散布適期

作物名 (対象 場所)	対象雑草名		濃度 (希釈倍 率)	10a当 散布量	散布時期	使用法
水田 畦畔	一年 生 雑 草	イネ科	400 ~ 200 倍	50 ~100ℓ	発生が揃い、草 丈が15~30cm以 上になった頃	1.混用しない。 2.展着剤は加 用しない。 3.濃厚少量散 布とする。 4.加圧式散布 機を使用す る。
		広葉				
農道	多 年 生 雑 草	イネ科	200 ~ 150 倍	150 ~ 100 倍	発生が揃い、草 丈が30cm以上 になった生育盛期	
		広葉				
		イネ科	ヒメムカシヨモギ、 ヒメジョオン、ノボロギ ク、ミチヤナギ		花芽形成期以降 の生育盛期で草 丈15~30cm以上 のところ	
広葉	オーチャードグラス、 チモシー、チガヤ、ハ マスゲ、ミズガヤツリ ヨモギ、ヨメナ、スイ バ、タンポポ、オオバ コ、ドクダミ、ワラビ、 ギシギシ	7月の生育盛期 以降				
イネ科	ススキ、ヨシ、ガマ		150 ~ 100 倍			
広葉	セイトカアワダチソウ クキ、ハチジヨウナ、 イタドリ、ヤマゴボウ フジ、クズ、セリ					

(イ) 塗布の場合

作物名 (対象 場所)	対象雑草名	濃度 (希釈倍 率)	10a当 塗布量	散布時期	使用法
水田 畦畔 農道	一年生雑草およびチガヤ、ヨシ、ススキ、ヨモギ、ギシギシなどの多年生雑草	3～6倍	3～6ℓ	雑草生育盛期～開花期、および生育終期（草丈15～150cm）	1.塗布器により対象雑草の葉面を1～2回まで葉液を附着させる。

(3) 指導上の留意点

- 1) 作物に附着しないよう飛散防止用ノズルやカバーを使用すること。
- 2) 雑草の草種に合わせ薬液がたれ落ちない濃度と散布量とする。又他剤と混用しない。
- 3) 畦畔のノリ面で使用すると崩壊しやすくなる。カメムシ類防除には刈取り除去する。
- 4) 効果の発現までに7～10日要し、スギナやクローバー類には効果が劣る。

(4) 当該事項にかかる試験研究課題名

素材技術の開発 (1)雑草防除法

9 水稻の簡易栄養診断

早生品種の期待生育相の策定およびカラスケールの使用について

(農試環境部・県南分場)

昭和58年度農業改良技術指導指針その1（水稻・畑作）P 41～44 参照

10 玄米貯蔵中における着色米関与菌の動向

昭和58年度農業改良技術指導指針その1（水稻・畑作）P 44～46 参照

11 新害虫イネミズゾウムシの発生経過と防除対策

昭和58年度農業改良技術指導指針その1（水稻・畑作）P 52～54 参照